

人権を知らなければ奪われる

第30回総会

部落解放・人権行政確立要求和歌山県実行委員会第30回総会が8月10日、プラザホープでおこなわれ、実行委員会構成団体から約120人が参加した。

「推進法」制定から1年以上が経過し、法律の具体化にむけたとりくみをすすめていくとともに、「人権侵害救済法」制定をめざしてさらなるとりくみをつけていくことを確認した。冒頭、主催者を代表して



あいさつする田上武・県実行委員会会長



世界人権宣言70周年の歴史を学んだ

れからの安全な道筋をたてるため、みなさまのお力添えをお願いしたい」とあいさつした。また、藤本哲史・県連執行委員長は「推進法が成立したが、施策がともなっていない現状である。すべての市町村に条例とモニタリングを求めていくことを方針としてとりくんでいく。国にたいしては、規制・救済を含めて「推進法」を補完し、新たな法律を求めていきたい」とのべた。

来賓として原田武男・県人権局長、森井均・和歌山市副市長が祝辞をのべ、宮本修作・同実行委員会事務局長による基調提案の後、今年度の役員が確認された。

今後の日程

- (1月)
- 4 仕事はじめ
- 10 商工観光労働部との打ち合わせ
- 11 第4回執行委員会・第4回県員会・荊冠旗びらき・女性対策部会議
(ダイワロイネットホテル)
- 17 伊と地方人権尊重連絡協議会「こころの研修」
(あじさいホール)
- 18 企業連新春交礼会
(ダイワロイネットホテル)
- 19～20 第25回中央福祉学校(神戸市)
- 21～22 第19回和歌山・人権啓発研究集会
(ホテルシーモア)
- 23 狭山ピラ統一行動「獄友」上映(田辺)
- 26～27 よみかき交流会(ホテルシーモア)

仲間とともに、解放運動を

第50回全高 第62回全青

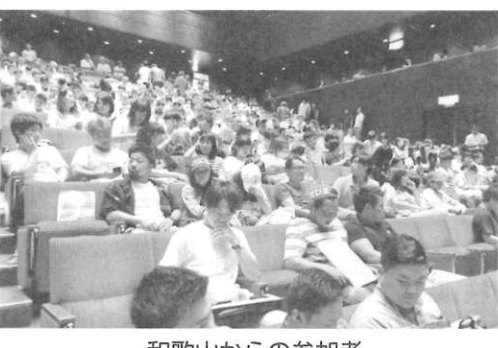
◆スローガン◆
ひろげよう仲間の輪！
深めよう仲間のきずな！
差別と戦争をゆるさない社会をつくらう！

8月18日、19日の2日間にかけて、第50回全国高校生集会・第62回全国青年集会在神戸市にある神戸国際会議場でひらかれ、全国から700人参加し、県連から高校生13人、青年32人、速水雅樹・教育文化運動部員、事務局4人が参加した。

はじめに、主催者を代表して組坂繁之・中央執行委員長から「第50回全国高校生集会及び第62回全国青年集会に、絆と友情を深める集会成为ることを心からお願い申し上げる」とあいさつした。つづいて、坂本三郎・兵庫県連執行委員長から地元歓迎あいさつがあり、金澤和夫・兵庫副知事からあいさつがあった。



絆と友情を深める集会にとあいさつする組坂繁之・中央執行委員長



和歌山からの参加者

分科会では、高校生・青年が各会場にわかれて参加した。第1分科会「部落問題入門」(運営・大阪府連)、



分科会ごとに討論した

和歌山支局では、各支部でのとりくみを積極的に紹介していききたいと思えます。支部活動や子ども会活動など、支局までお知らせいただければ、取材に走ります。もちろん、投稿記事も大歓迎！写真を添えて支局までお送り下さい。(発送先)〒640-08314 和歌山市神前405-3 部落解放同盟連合会内 解放新聞和歌山支局宛

支局からのお知らせ



お気軽にお電話を！

今年も実施、健康を守る 移動保健所 健康検査事業

8月1日、同和企業センターにおいて「移動保健所健康検査事業」五者会議がひらかれ、県、和歌山市、田辺市、県立医科大学、当該保健所、当該支部20人が出席した。

宮本修作・県連書記長、山本昌代・生活福祉運動部副部長よりあいさつがあり、県から事業の趣旨・経過説明をうけたあと、具体的な内容の協議に入った。今年度の実施支部は、鳴神支部・田辺支部。